

平成22年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ」の出題の趣旨

第1問（配点30点）

A社の主力事業である砂糖業界の環境変化と事業展開の変容に関連して、中小企業診断士としての基本的理解力と分析力を問う問題である。

（設問1）

食品原材料業界の流通において一次問屋として事業を成功裡に展開してきたA社に対して、二次・三次問屋とのネットワークが果たしてきた機能を問うことによって、業界構造の変化について分析力を問う問題である。

（設問2）

経営環境の変化によって事業展開の方法がどのような変化を迫られたのかについて、商品特性を踏まえて分析する基本能力を問う問題である。

第2問（配点30点）

業界の大きな構造変化の中で転廃業を迫られている取引業者の友好的買収に関連して、中小企業診断士としての基本的理解力と分析能力、助言能力を問う問題である。

（設問1）

A社が友好的買収を推進する目的と、それを実施した結果として得られる効果を分析する能力を問う問題である。

（設問2）

傘下におさめた企業の従業員に対する処遇・待遇が、それ以外の従業員に対する影響に関して、分析能力と助言能力を問う問題である。

第3問（配点20点）

家族主義的経営を標榜して年功序列型賃金制度を柱とする中小企業であるA社が、経営環境の変化と体制転換の中で、いかなる人事制度・賃金制度を構築すべきかに関して、中小企業診断士としての分析能力と助言能力を問う問題である。

第4問（配点20点）

市場の成熟化が進む中で、事業拡大を志向するA社が、新規事業展開を行うべきか否かに関して、中小企業診断士としての分析能力と助言能力を問う問題である。

以上